

今日のトピック

日本株、ギリシャ国民投票の結果を受け下落

ポイント1 一時500円を超す下げ

米ドル円レートは一時122円割れの円高

- 6日の日経平均株価は、前週末比▲427.67円の20,112.12円と大幅に下落しました。5日に実施されたギリシャの国民投票で、欧州連合(EU)が提案した財政緊縮案への反対が多数となったことで、ギリシャのユーロ離脱の可能性が高まったことから、全般にリスク回避の動きが優勢となりました。
- 為替市場でもリスク回避の円高が進み、米ドル円レートは一時122円を割る円高となりました。

ポイント2 EUやECBの今後の対応に注目

ギリシャ支援合意への動きに期待

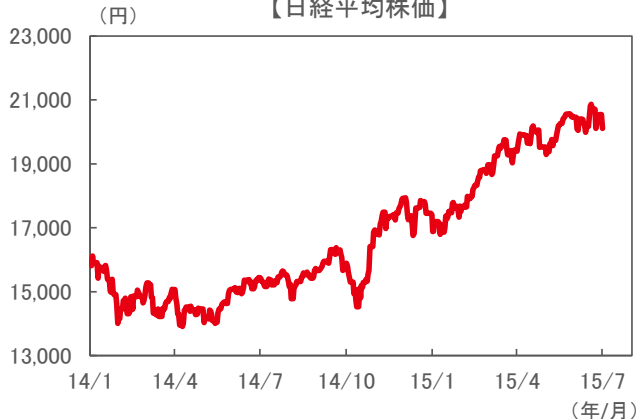
- 欧州中央銀行(ECB)は6日に、EUは7日にそれぞれ緊急会合を開き、対応を協議する予定です。また、フランスのオランド大統領とドイツのメルケル首相は6日にも会談を持ち、対応を協議すると伝えられています。
- ECBは現在、ギリシャの中央銀行が民間銀行に貸し出す「緊急流動性支援(ELA)」を承認しています。「ELA」が打ち切りになった場合、ギリシャ経済が窮地に陥る可能性が高く、ECBは金融支援の協議中は「ELA」の承認を継続すると見られます。EUとギリシャがどの程度歩み寄るか不透明感が残るものの、今後、ギリシャ支援の合意に向けた動きが見られれば、市場は落ち着きを取り戻すと見られます。

今後の展開

当面、神経質な相場展開が続く
見通したが下値は限定的

- ギリシャの債務の保有主体は公的部門が全体の7割強を占め、欧州安定メカニズム(ESM)などが整備されていることなどから、ギリシャ問題が深刻化してもリーマン・ショックのような金融危機や信用収縮が発生する可能性は低いと思われます。金融緩和、景気回復、公的年金資金による買いなどもあり、株価の下値は限定的と見られます。

【日経平均株価】



(注) データは2014年1月6日～2015年7月6日。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

【米ドル円レートとユーロ円レート】



(注) データは2014年1月6日～2015年7月6日。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

【ギリシャ関連の主なスケジュール】

日程	主なスケジュール内容
7月 6日	独仏首脳会談
7日	ユーロ圏財務相会合、ギリシャの銀行営業再開予定
13日	ユーロ圏財務相会合 ギリシャのIMFへの融資返済(約5億ユーロ)
14日	ギリシャの円建て外債の償還(約8,300万ユーロ)
16日	ECB理事会
17日	ギリシャの3年物国債の利払い(約7,100万ユーロ)
20日	ECB保有のギリシャ国債償還(約35億ユーロ)
8月 20日	ECB保有のギリシャ国債償還(約32億ユーロ)

(注) 上記は7月6日時点の予定であり、変更されることがあります。
(出所) 各種資料を基に三井住友アセットマネジメント作成

ここも チェック!

2015年07月03日 ギリシャの「資本規制」解除に向けて(欧州)
2015年07月01日 ギリシャ向け金融支援が失効

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。